平成２５年度　事業報告書

小山田桜台団地祭

社会福祉法人　嘉　祥　会

※報告書内の写真についてはすべて使用の承諾を得ております。

目　次

１．法人本部　事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　１

２．グループホーム ぬくもりの園 事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　９

３．デイサービスセンター ぬくもりの園 事業報告・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１８

４．ショートステイサービス ぬくもりの園 事業報告・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３３

５．居宅介護支援事業所 ぬくもりの園 事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４１

６．ヘルパーステーション ぬくもりの園 事業報告・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４９

法人本部　事業報告

はじめに

平成２５年度は、昨年６月に小山田桜台団地に開所しました介護ステーションが、足湯やボランティアの方の協力による折り紙教室、「終活講座」等の開催を通して、地域の方に馴染みの関係ができて来ました。日曜日の営業を開始したことで、週に何度も血圧を計りに来る方、介護ステーションの職員を慕って話をすることを楽しみに足を運んでくださる方、学習塾に行く前に予習に立ち寄る中学生等、介護ステーションが地域の皆様に「ここに気軽に相談出来る、立ち寄れる場所がある」と親しんで頂ける場所となってきました。

毎月行っている７事業所会議は介護事業部部長を中心に事業計画に沿って、各事業所の職員が、事業所間での連携の強化を行い、嘉祥会全体としてのご利用者への質の高いサービスの提供に向けて考えました。ショートステイにおける介護事故発生時も事業所間で検証を行い再発予防に取り組みました。

また、新規事業（公益事業）として合祀墓の仲介事業、紙おむつの販売を開始しました。合祀墓の仲介につきましては、ホームページ、ビラを作成し、広報活動を中心に行いました。

そして、地域との交流として、地元清住平自冶会との防災協定の締結を始め、地域の自冶会、町内会、小山田中学校学区内の防災訓練に、グループホームのご入居者も参加させていただきました。

災害時だけではなく、日頃から地域の皆様が、気軽に足を運びやすい施設環境作りとして、3 月には、「非常食で作るメニュー、非常時の調理法の食事会」を開催し、車椅子の操作方法の講習も行いました。小山田桜台団地祭りの出店、地域神社祭礼の参加、お餅つき大会の開催等、地域の皆様との信頼関係を形成していきました。

近隣に新しい介護サービス事業所の開設等、稼働率の伸び悩みがある厳しい状況の中、「地域と供に活きる」をキーワードに社会福祉法人として地域への還元の役割を検証し事業に取り組んできました。

来年度も、地域の皆様に慕っていただける様、事業に取り組んで参ります。

２．今年度の重点目標の成果

（１）介護ステーションにおけるサービス事業の充実

ア．相談事業の推進

相談事業の中心は介護相談になっておりますが、介護相談だけではなく他の相談事業のPR活動を行った結果、幅広い内容の相談について受付けることができました。また、地域の方より、「身近に相談にいける場所が出来て心強い」とのご意見を頂いております。

今後も、地域の方が気軽に相談に立寄れるような環境づくりに努めます。

月	件数	相談内容等
4月	12件	介護保険サービスについて　他
5月	7件	介護保険サービスについて　他
6月	12件	エンディングノートについて　他
7月	12件	福祉用具の貸し出しについて　他
8月	10件	遺産相続について　他
9月	10件	遺産相続について　他
10月	15件	趣味活動について　他
11月	10件	介護保険サービスについて　他
12月	12件	介護保険サービスについて　他
1月	12件	葬儀の見積もりについて　他
2月	6件	福祉用具の貸し出しについて　他
3月	4件	病院について　他

イ．安否見守り活動事業の実施

名称を「高齢者見守り活動」から「高齢者見守りサービス」に変更し、各町内会、老人クラブ、高齢者支援センターへのPR活動に努めました。問い合わせは3件ありましたが利用希望者はありませんでした。しかし、問い合わせのうち1件は本会居宅介護支援事業所の利用へと繋がりました。今後も、ＰＲ活動に努めます。

ウ．地域の方を対象とした研修等、地域貢献活動の開催

地域の方を対象として、足湯体験、折り紙講座、各種講座を開催し、さらに小山田桜台団地祭へ綿菓子店を出店いたしました。また、綿菓子店には多数の地域の方が来訪され好評でした。今後も、地域の方を対象とした研修や行事等を開催し一人でも多くの方に親しんで頂けるようPR活動に努めます。

①地域の方を対象とした研修等

開催日	内　容	開催場所	参加人数等
第 2、 第 4 土曜日	足湯体験	介護ステーション 前	参加者 358 名 （23 回合計）
4 月 20 日	折り紙講座 「兜を作ろう」	介護ステーション 地域交流スペース	地域の皆様 13 名
5 月 18 日	折り紙講座 「紫陽花を作ろう」	介護ステーション 地域交流スペース	地域の皆様　4 名
6 月 15 日	折り紙講座 「彦星と織姫を作ろう」	介護ステーション 地域交流スペース	地域の皆様 10 名
7 月 20 日	折り紙講座 「朝顔を作ろう」	介護ステーション 地域交流スペース	地域の皆様 11 名
7 月 28 日	口腔ケア講座	小山田桜台集会場	地域の皆様 7 名
8 月 17 日 18 日	小山田桜台団地祭 綿菓子店出店	介護ステーション 前	
9 月 21 日	折り紙講座 「かぐや姫を作ろう」	介護ステーション 地域交流スペース	地域の皆様 5 名
10 月 19 日	折り紙講座 「ペン立てを作ろう」	介護ステーション 地域交流スペース	地域の皆様 4 名
11 月 16 日	折り紙講座 「クリスマスツリーを作ろう」	介護ステーション 地域交流スペース	地域の皆様 5 名
12 月 21 日	折り紙講座 「祝い鶴を作ろう」	介護ステーション 地域交流スペース	地域の皆様 8 名
1 月 18 日	折り紙講座 「椿を作ろう」	介護ステーション 地域交流スペース	地域の皆様 14 名
2 月 13 日	認知症サポーター養成講座	小山田桜台集会場	地域の皆様 18 名
3 月 15 日	折り紙講座 「エコボックスを作ろう」	介護ステーション 地域交流スペース	地域の皆様 8 名
3 月 30 日	終活講座 「葬儀について」	小山田桜台集会場	地域の皆様 20 名

小山田桜台団地祭

折り紙講座

終活講座

②地域活動

開催日	内容	場所
5 月 11 日	デイルーム貸し出し　清住平自治会役員会	デイルーム
5 月 31 日	環境美化活動（雑草除去、道路清掃） 参加職員　9 名	嘉祥会周辺道路
7 月 13 日	デイルーム貸し出し　清住平自治会役員会	デイルーム
8 月 31 日	上根神社祭礼（お神輿の担ぎ手、カラオケ） 参加職員　7名	上根神社
10 月 1 日	赤い羽根共同募金活動 参加職員　7名	多摩境駅
11 月 9 日	デイルーム貸し出し　清住平自治会役員会	デイルーム
11 月 10 日	清住平ふれあい会	デイサービス
12 月 26 日	お餅つき大会 参加者　地域の皆様　26名	デイサービス中庭
3 月 8 日	デイルーム貸し出し　清住平自治会役員会	デイルーム
3 月 16 日	非常食をアレンジした料理の試食会 参加者　地域の皆様　12名	デイサービス

社会福祉法人として地域の皆様に親しんでいただける活動を行いました。

赤い羽根共同募金

試食会

お餅つき大会

エ．日曜営業の開始

地域の方がご利用及び訪問しやすいよう、本年 4 月より日曜日の営業を開始致しました。日曜日の営業を開始することで、平日仕事等で相談に来訪出来ない方の相談を受付けることも出来ました。また、来訪者数についても他の曜日よりも多くなっております。

オ．ＡＥＤ（自動体外式除細動機）の設置

緊急時の救命を目的とした AED を介護ステーションに設置いたしました。7 月には近隣バス停にて人が倒れ、介護ステーションに設置してある AED が利用されました。

（2）人材確保と質の向上

ア．研修開催状況

実施日	内　容	講　師	参加人数
7 月 30 日	高齢者虐待防止研修	あい権利擁護支援ネット 川村　孝俊　氏	35 名
8 月 11 日	介護職員のための 接遇対応研修	Flight plan 岩井　昌江　氏	6 名
10 月 1 日	危機管理研修	メンタルプラス株式会社 和田　隆　氏	7 名
12 月 12 日	医療ニーズを見逃さない ケアを学ぶ	大熊　健之　　職員 久保田　亜紀子　職員	15 名
12 月 13 日	認知症サポーター養成講座	小山　祥一　職員	8 名

新人職員を対象とした接遇対応研修の他、各種研修を定期的に実施しました。

イ．職説明会参加状況

参加日	主催者・内容	会　場	参加人数
4 月 17 日	ハローワーク面接会	ハローワーク町田	２名
5 月 11 日	ふくしのしごと就活フェア	町田市文化交流センター	３名
5 月 15 日	ハローワーク面接会	ハローワーク町田	２名
6 月 5 日	ふくしのしごと就活フェア	ハローワーク町田	２名
	嘉祥会を含む施設見学会	―	
7 月 17 日	ハローワーク面接会	ハローワーク町田	２名
8 月 5 日	町田市社会福祉協議会面接会	町田市文化交流センター	２名
9 月 4 日	町田市商工会議所面接会	町田商工会議所２階	２名

10 月 23 日	ハローワーク面接会	ハローワーク町田	２名
10 月 25 日	ハローワーク町田・八王子 府中・相模原	町田市立総合体育館 サブアリーナ	２名
10 月 28 日	多摩地区ハローワーク（八王子・ 立川・青梅・三鷹・町田・府中）	社団法人　東京都 農業会館　203 号会議室	１名
11 月 20 日	ハローワーク面接会	ハローワーク町田	２名
1 月 15 日	ハローワーク面接会	ハローワーク町田	２名

定期的にハローワーク町田及び人材センター等が主催する面接会に参加し、新規職員獲得に努めました。

（３）IT サービスの導入

ショートステイ事業所における利用予約システムを整備しましたが、操作方法等の問題から、システムの利用に結び付かない状況であります。今後は、操作方法のマニュアルを各事業所に配布する他、システムの機能改良、向上を図り、利用しやすい環境を整備します。また、テレビカメラの設置については、プライバシー等の問題から設置を一時保留としております。

（４）広報活動の強化

会報紙「介護ナビぬくもり」を定期的に発行し、ご利用者ご家族、居宅介護支援事業所及び各種団体に送付したほか、下小山田町内会、清住平自治会、図師町内会に回覧、近隣町内に新聞折込みの広報活動を実施しました。

また、ホームページでは、各事業所におけるイベントの様子やご利用者の生活のご様子についてブログを通じて情報を公開しました。

その他、“毎日が楽しい食事”と題して、ご利用者に提供している当施設の食事を知って頂く為に、各事業所のメニューや地元農家から取り寄せている新鮮な食材についてのご紹介や、ケアマネジャーを対象としたお食事会も開催しました。

会報誌の発行状況

発行月	号　数	発行部数
5 月	21 号	3,800 部
8 月	22 号	3,800 部
11 月	23 号	3,800 部
2 月	24 号	3,800 部

（５）防災、防火計画の強化

各施設において火災及び地震等を想定した総合防災訓練を実施したほか、地域との連携の強化及び自助・共助に基づく地域防災対策の向上を図るために、地元町内会が主催する総合防災訓練に参加しました。

また、災害時におけるライフラインの停止を想定し、飲食物や乾電池等の備蓄品の充実を図り、備蓄品チェックシートに基づき点検、管理を行いました。

（６）収益事業の開始

ア．合祀墓の仲介事業

ホームページ及びフリーダイアルを開設したほか、チラシを作成し東京都内の区役所並びに市役所、社会福祉協議会、福祉事務所、司法書士並びに行政書士事務所にダイレクトメールの発送を行いました。現在、利用希望者の獲得には至っておりませんが、今後も引き続きダイレクトメールを発送するほか、各行政団体、葬儀社及び火葬場への営業活動を強化していきます。

イ．介護用品及び福祉用具の販売

介護用品の販売については、本会グループホームご利用者の他、提携施設への紙おむつの販売を行いましたが、福祉用具については販売の実績はございません。今後は、ところみなどの介護用品の販売を行う他、介護ステーションに車いすや歩行器などの展示を行い、福祉用具の販売も行っていきます。

（７）理事会、評議員会開催状況

開催日	議　事	開催場所	出席人数
5月28日（土） 第1回 理事会 評議員会	①平成24年度　事業報告 ②収入支出決算報告並びに監事監査報告 ③平成25年度　第1次補正予算 ④所轄庁変更に伴う定款変更	JA町田 忠生会館 2階会議室	理　事　１０名 評議員　１８名 監　事　　１名
8月31日（土） 第2回 理事会 評議員会	①平成25年度　第2次補正予算	JA町田 忠生会館 2階会議室	理　事　　９名 評議員　１４名 監　事　　―名
11月30日(土) 第3回 理事会 評議員会	①平成25年度　上半期事業報告 ②平成25年度　上半期収支計算報告 ③平成25年度　第3次補正予算 ④定款細則の一部変更 ⑤役員報酬規程の一部変更	JA町田 忠生会館 2階会議室	理　事　１０名 評議員　１９名 監　事　　１名

3月29日(土) 第4回 理事会 評議員会	①平成25年度　第4次補正予算 ②平成26年度　事業計画 ③平成26年度　収支予算	JA町田 忠生会館 2階会議室	理　事　１０名 評議員　１７名 監　事　　１名

（8）会議開催状況

会議名	開催数	内　容	参加人数
正規職員全体会議	4回	・各種報告及び連絡事項について ・事業計画、決算報告について　他	延114名
管理者会議	2回	・各種報告及び連絡事項について ・ショートステイ予約システムについて 他	延34名
運営企画会議	7回	・各種報告及び連絡事項について ・契約のあり方について　他	延53名
営業会議	12回	・営業エリア、営業方法及び営業ツールについて ・営業報告及び今後の営業活動について 他	延85名
介護ステーション会議	6回	・各種報告及び連絡事項について ・介護ステーションにおけるPR活動について他	延47名
7事業所会議	12回	・稼働率及び執行率について ・各事業所における稼働率の向上に向けての取組みについて　他	延98名
感染症委員会	5回	・季節ごとに流行する感染症についての勉強会 ・感染症対策について　他	延40名

高齢者グループホームぬくもりの園 事業報告

１．運営方針

（１）入居者の生活

緑豊かな環境の中で、ご自分のペースで、ゆったりと、安心して、ご自宅で生活しているような雰囲気作りを行ないました。

毎日の掃除、洗濯、食事作り等、生活の中で、お一人おひとりがご自分の出来る事を見つけ出し、それが生きがいとなり、自立につながるよう支援しました。

（２）地域との交流

自治（町内）会主催の行事や、隔月に開催している地域運営推進会議などを通じて地域との交流を図りました。

また、介護ステーションを通じて近隣の方とのふれあいの場をつくり、地域に密着したグループホームづくりに努めました。

ア．自治会主催

開催日	実施内容	参加入居者人数
８月　３日	下小山田夏祭り	６名
８月２４日	清住平夏祭り	３名
８月３１日	上根神社御神輿	１７名
１１月１０日	清住平ふれあい会	１７名

１１月には、当園の駐車場で行われた自治会主催の清住平ふれあい会に参加させていただきました。天候が悪く室内での催し物になりましたが、近隣の皆様とふれあうことができました。

清住平夏祭り

清住平ふれあい会

イ．地域運営推進会議

開催日	ご入居者	ご家族	支援センター	自治会	職員
５月２５日	１名	１名	１名	１名	２名
７月２７日	１名	１名	１名	１名	２名
９月２８日	１名	１名	１名	―	２名
１１月２３日	１名	２名	１名	―	２名
１月２５日	２名	―	１名	１名	２名
３月２２日	１名	１名	１名	―	２名

高齢者支援センターや自治会代表の方と情報交換ができました。また、ご家族から「母は畑仕事が好きですので、何か出来る事があれば声を掛けて下さい。」との話しがありましたので、そのご入居者には畑への苗植えから収穫まで関わっていただきました。今後も、ご入居者並びご家族のご意見を尊重して、より良い運営を目指します。

ウ．介護ステーション

開催日	実施内容	参加入居者人数
４月１３日	足湯	３名
６月１５日	折り紙教室	３名
７月２０日	折り紙教室	３名
１１月１６日	折り紙教室	３名
３月２２日	足湯	６名

折り紙教室では地域の方々とふれあうことができ、社会参加の場を設けることができました。

折り紙教室

足湯

（３）環境の整備

実施日	実施内容
４月２０日	園内の清掃（専門業者）
６月２９日	エアコン清掃（専門業者）
６月２４日	町田市苗の配布
１１月２７日	町田市苗の配布
１２月１４日	園内の清掃（専門業者）

ご入居者が快適に過ごして頂けるよう園内の床、外窓、玄関の清掃と、エアコン及びエアコン室外機の清掃、消毒を行いました。

２．重点目標

（１）入居待機者の確保

営業担当職員による営業活動にて、町田市、多摩市、八王子市、相模原市の地域包括センターと居宅介護支援事業所に、月に一度訪問活動を行ないました。その際、当事業所の内容をお伝えし、グループホーム入居の待機に繋げると共に、目標達成に努めました。

（２）共用型認知症対応型通所介護事業利用の推進

上記、入居者待機の確保同様、営業担当職員による営業活動にて、共用型通所介護の PR 活動も行い、居宅介護支援事業所より２件のご紹介を頂きました。

（３）入居者ニーズの実現

ご入居者に担当職員を覚えて頂くために、担当職員自己紹介カードをご入居者のお部屋に置かせて頂きました。その結果、ご入居者と担当職員との間で話しやすい環境を作ることができ、日々の困り事を解決しています。実際に、「衣類が足りない。」と不安になっているご入居者には、担当職員が話しを伺いながら一緒にタンスの整理をおこない、足りないと思っていた衣類が見つかり、ご入居者が大変喜ばれた事もありました。

３．入居者定員

平成２５年度は上半期に２名の入退居があり、それに伴う空室が３３日になりました。また、２名が骨折による手術、１名が内臓疾患に伴う手術により計１５５日間入院され、その他に外泊が３４日間ありました。年間目標９７％に対し、平均稼働率９６．６％となりました。

４．サービスの内容

（１）ご入居者の生活

自由にゆったりとした時間を過ごしていただきました。また、毎日の掃除、洗濯、食事作りをご本人の生活のリズムに合わせて行なうことにより、生活の活性化を図りました。

窓ふきのご様子

毎日のお掃除

昼食作づくり

（２）ご家族との交流

毎月送付するご家族への手紙には、ご入居者の様子を写真付きでお知らせしました。ご来園の際に「楽しそうな写真をありがとうございます。」との言葉を頂きました。

クリスマスには、６組のご家族に参加して頂き、楽しいひと時を過す事が出来ました。

クリスマス会

（３）食事

ア．中庭の花壇に三つ葉の苗を植え、大きくなった三つ葉をお吸い物や和え物に使用し、食卓を飾りました。

イ．季節の食事として６月に流しそうめん、１０月にはバーベキューをおこないました。

三つ葉の摘み取り

中庭でのバーベキュー

（４）健康管理

グループホーム内研修

実施日	研修内容
５月３０日	感染症（食中毒について）
６月２７日	血中酸素飽和度について
７月２９日	医療行為について

８月２９日	感染症（９月～１１月に流行する感染症について）
１１月２８日	感染症（ノロウィルス、インフルエンザについて）
１月３０日	高齢者の転倒予防について
２月２７日	感染症（３月～５月に流行する感染症について）

事業所の会議時に、感染症等の勉強会を行い、予防に努めました。また、ご入居者の身心状態を職員同士で話し合い、情報を共有しながら支援しました。

（５）年間行事

ア．年間行事実施表

月	行事名	実施内容
４月	お花見ツアー	３月２５日に近隣の桜並木を見に行き、小山田会館でお弁当を食べました。
５月	鯉のぼりツアー	５月４日、５日に鶴見川の鯉のぼりを見学し、季節を感じていただきました。
６月	相模原麻溝公園 あじさい見物ツアー	６月１９日、２９日に公園に咲いている色とりどりのあじさいを楽しんでいただきました。
７月	七夕まつり	７月７日七夕飾りを作り、願い事を書いた短冊を笹に飾りました。
８月	大夏まつり	８月１８日デイルームで盆踊りを行い、手作りの屋台でヨーヨー釣りや的当て等のゲームを楽しんでいただきました。
９月	敬老祝賀会	９月１５日デイサービスで昼食にお祝い膳を召し上がっていただきました。その後ボランティアの方によるコーラスを聞いて頂き、記念品として園で過ごされたアルバムを贈呈致しました。
１０月	大運動会	１階と２階のご入居者が赤組、白組に分かれ、玉入れやパン食い競争など競技を行いました。毎年勝敗はつきませんが、楽しい時間を過ごしました。
	バーベキュー大会	今年のバーベキューはデイサービスと合同で中庭にて行いました。お肉や野菜、焼きそばやフランクフルトを召し上がり、１名のご家族も参加され、にぎやかな昼食となりました。

１１月	紅葉狩りツアー	昇仙峡を見学し､切り絵の美術館に行きました。美術館内の喫茶店では、会話がはずみました。
１２月	クリスマス会	コーラスのボランティアによるクリスマスの歌を聞き、ご入居者・ご家族の方と一緒にビンゴ大会を行ないました。好きな景品を手に取り喜ばれていました。
１２月	お餅つき大会	「よいしょー！どっこいしょー！」と大きな声でつき手を応援しました。つきたてのお餅は昼食に美味しくいただきました。
１月	初詣	矢部八幡宮へ初詣に行きました｡お賽銭を入れ、想いおもいの願いを拝んできました。恒例のおみくじを引き、笑顔での初詣になりました。
２月	節分祭	節分祭に向けて手作りした鬼の面をかぶった職員めがけて、力いっぱい豆をまきました。
３月	ひな祭り	ご入居者で作った雛壇に桃の花を飾り、ひなあられと甘酒でささやかに乾杯しました。可愛らしく出来上がったひな人形に目を細めていらっしゃいました。

大運動会

紅葉狩り

お餅つき大会

初詣

イ．町田市グループホーム活動報告会

今年度は町田市内３か所にて高齢者支援センターと合同で、町田市のグループホームの紹介や入居条件等を一般の方に向けて話をさせて頂きました。

ウ．町田市グループホーム入居者作品展示会

今年度は行わず、来年度４月に町田市立国際版画美術館で行なう予定となっております。

５．防災防火計画

実施日	実施内容	参加人数
５月３０日	グループホーム避難訓練 （火災を想定）	１８名
９月１４日	清住平自治会防災訓練	２名
９月２２日	下小山田自治会防災訓練	２名
１１月１７日	小山田中学校総合訓練	３名

５月の避難訓練では居室からの火災を想定した訓練を行い、火災発生時に備えました。

地域との合同防災訓練

小山田南小学校での防災訓練

６．総括

本年度は、２名のご入居者が特別養護老人ホームに移られ退居されました。新規のご入居者の内１名の方は、他施設をご利用されていましたが、ご家族がホームページをご覧になり、見学に来られ、環境の良さと、施設の雰囲気を気に入られ、入居されました。もう１名の方は本会のショートステイをご利用中にご家族が見学に来られ、入居に繋がりました。

また、２名のご入居者が大腿部の骨折により入院され、１名のご入居者が内臓疾患に

よる手術の為、入院されました。現在、３名ともに退院され、入院前の生活に戻れるように支援させて頂いています。ほかの皆様は大きな事故、病気等なく過ごされました。

行事では、バーベキュー、クリスマス会を行い、バーベキューは中庭にてデイサービスと合同で行ないました。面会に来られたご家族も加わりにぎやかな昼食となり、ご入居者、デイサービスのご利用者との交流が図れました。クリスマス会では、６組（１１名）のご家族にご参加頂き、楽しいひと時を過ごして頂きました。また、クリスマス会後に行った家族会には、２名のご家族にご参加頂き、アセスメントでは伺えなかったお話しや、ご家族より「施設にお母さんを入れて本当にその選択が正しかったのか？」と疑問を持っていたそうですが、今は「ぬくもりの園でのお母さんの様子を見て安心してお預けしています。」と入居後の思いを聞く事ができ、家族会をおこなう事でコミュニケーションを図る事ができました。それにより、その後来園された際には気軽に話し掛けていただき、ご入居者の日頃のご様子を含めたお話しをする時間も増え、職員の取り組み等にも興味を持っていただけるようになりました。

高齢者デイサービスセンターぬくもりの園　事業報告

１．運営方針

（１）環境作り

明るく、元気よく、ご利用者との会話を大切にしながらコミュニケーションが図れるよう努めました。また、日々のご利用者の状態に配慮したテーブル配置など工夫し、快適にお過ごしいただけるよう努めました。

（２）生きがい作り

ご利用者との会話の中で、楽しみや趣味をみつけ、個別レクリエーションや集団レクリエーションを提供しました。また、水彩画を作製していただき、フロアへ飾らせていただきました。

ご利用者作「ほうずき」

個別レクリエーションの様子

パターゴルフの風景

集団レクリエーションの様子

中庭でのレクリエーション

実習生との似顔絵作成

（３）自立支援の推進

配膳、下膳や洗濯物たたみなど、気持ち良く行なって頂けるよう、言葉かけを行ないながら支援しました。また、女性のご利用者には食事の準備へも参加していただきました。

食事準備の風景

子供たちと食事準備

（４）家族支援

送迎時には、ご家族と会話をする時間を設けながら、ご要望やお悩み等に気づけるよう、コミュニケーションを大切にしました。

（５）地域交流

地域のボランティアの方によるハンドベル演奏会や音楽会を開催しました。また町内会のお祭りに参加し、当園の駐車場で、ご利用者が神輿やひょっとこ踊りを見学しました。

三味線演奏会

町内会の夏祭り

（６）広報活動

活動予定表を毎月発行し、ご家族や町田市、多摩市、相模原市、八王子市などの居宅介護支援事業所を中心にＰＲ活動を行ないました。また、熊本県の湯の素入浴剤並びにミネラル豊富な死海のお塩風呂の入浴サービスに関するＰＲ活動も行いました。

２．重点目標

（１）ご利用者ニーズの実現

ア．ご利用者の入浴希望に応えられるよう、入浴業務の時間を最大限に増やしました。また、脱衣所に音楽を流すことで、ゆったり安心して入浴していただけるよう努めました。

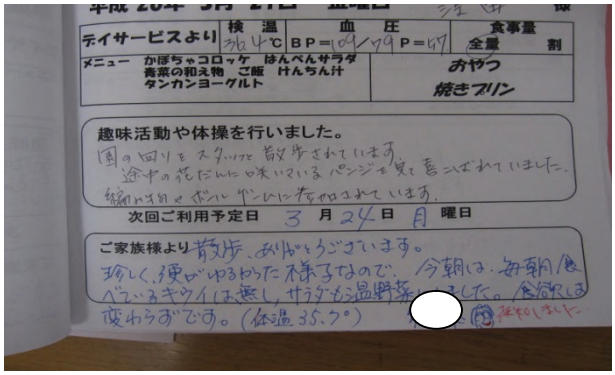
イ．ご利用者の要望を取り入れた機能訓練計画書を作成し、平行棒や手作り棒、訓練マット等を活用し、ご利用者の状態に合わせた機能訓練を楽しみながら実施しました。連絡帳等でご家族との情報交換、ご希望を伺い、また、活動の様子をご家族及びケアマネジャーへ報告し連携を図りながらご利用者の支援を行いました。

平行棒

訓練マット

棒体操

ウ．送迎時にご家族との会話や連絡帳での情報交換で、お悩み事などを引き出せるようコミュニケーションを積極的に図りました。そのお悩み事等の解決策をご提案することで、ご家族の介護が軽減できるように努めました。また、ご家族より、「スタッフの名前を知りたい」との要望があり、９月よりユニホームの左胸に名札（ネームタグ）をつけて業務を行うことで名前を覚えていただくことが出来ました。さらに、ご利用中のご様子を業務日誌や個人記録に細かく記載し、ミーティング等で話し合い、情報の共有に努めました。そして、サービス担当者会議開催時には業務の調整を行い、参加することで、ご利用者の利用中のご様子など情報交換を行い、担当ケアマネジャーと協力しながら、ご利用者の生活の質の向上に努めました。



ご家族との連絡帳

ネームタグ

エ．毎月、郷土料理フェアーを開催しました。食事提供の際にはフロアで調理し、香りを楽しみ、目で見て楽しみ、味で楽しんで頂けるよう努めました。また、旬の果物を全国各地より取り寄せ、季節感を楽しんでいただきました。

山梨名物「ほうとう鍋」

山梨県産「種なし巨峰」

オ．毎月、デイサービス便りを作成し、ご家族へ配信することで、利用中や活動時の様子などを、写真で伝えました。また、居宅介護支援事業所へも配信し、ＰＲ活動を行いました。

（２）環境整備

毎日、ご利用者の状態に合わせ、テーブルやイスの配置など工夫した他、デイサービス入口の外溝工事を行うなど、環境整備に努めました。

３．サービスの内容

（１）生活支援・援助

ご利用者への言葉かけを工夫し、出来る事は自身で行って頂けるよう支援しました。個別機能訓練計画に沿ったサービスを提供し、評価を行ない、身体機能の向上へ向けた取り組みを実践しました。

棒を使ったテーブルかるた

平行棒を使用した機能訓練

（2）食事

毎月、郷土料理フェア―を開催し、全国各地の郷土料理を提供しました。また、旬の果物も全国各地より取り寄せ、食事の時間やおやつの時間に提供しました。

横浜中華丼

長野県産「サンふじ」

（3）入浴

入浴は毎日開催し、ご利用者のご希望に応えられるよう、業務内容を変更しながら入浴提供時間を最大限に設けています。また、毎月、26 日の週に１週間、塩釜温泉の温泉浴を提供しました。ご利用者のおよそ８割の方が入浴を楽しまれております。

（4）環境と設備

毎日、業務終了後には清掃を行ない、園内の清潔に努めました。また、４回／年、厨房内の害虫駆除を行ない、衛生管理に努めました。さらに、危険個所の点検も実施し事故防止に努めました。

（5）送迎

送迎中は安全運転に努めながら、車内での会話を通じて、ご利用者のご様子を把握したり、楽しんでいただけるよう、送迎業務を行ないました。

（6）日課

天気の良い日には、中庭でのレクリエーション、散歩や近隣の公園へ出かける事で、季節を感じていただきました。また、そのような活動を通じて、機能訓練に繋がるようなレクリエーションを考案し、実施しました。

中庭で棒体操

蓮の花見学

（７）健康管理

毎日、血圧測定や体温測定を行ない健康管理に努めています。また、日常会話の中で普段の様子と変わりないか注意をしながらコミュニケーションを図れるよう努めました。

（８）年間行事

※食材の調達や天候等により、各月の行事予定を変更しながら提供しております。

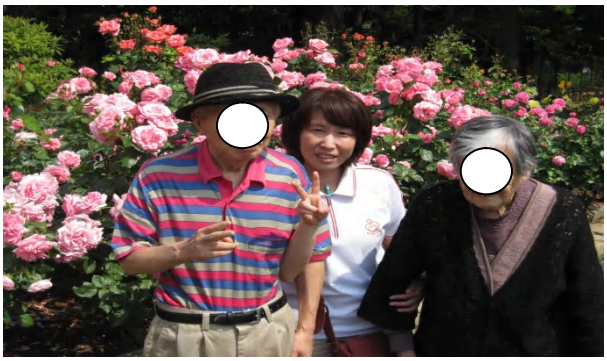
月	行事	内容
４月	筍づくし御膳	春といえば旬の筍。筍を炊き込みご飯と天ぷらにして召し上がっていただきました。
	淵野辺公園でお花見	淵野辺公園へお花見に出かけました。
	春の音楽祭	ホール内を春の雰囲気を感じる飾り付けを行ない、お茶菓子に合うお茶をたて、春のひと時を過ごしていただきました。また、ボランティアの方による音楽祭を楽しんでいただきました。
５月	鶴見川の 鯉のぼりツアー	鶴見川の名物「鯉のぼり」を見学し、季節を感じていただきました。
	ゴールデンウィーク ＤＡＹ	期間中に菖蒲を浴槽に入れて、季節を感じていただきました。
	ばら苑散策	相模原市のばら公園へ出かけました。
６月	にぎやか祭り	恒例になりました保育園児との交流会を開催しました。園児のかわいい踊りや歌を楽しみました。終了時にはご利用者から園児へ手作りメダルをプレゼントし交流を深めました。
	「高幡不動」 紫陽花めぐり	紫陽花で有名な「高幡不動」へ出かけ、気分転換や季節を感じていただきました。

	蓮の花めぐり	薬師池公園や近隣の公園へドライブに出かけ、蓮の花を見学しました。
	相模原 博物館めぐり	快晴の中、相模原博物館へ出かけました。
	小山田小学校 ２年生来園	小山田小学校２年生の皆さんが来園され、歌やゲームなどをご利用者と楽しみました。

郷土料理「札幌ラーメン」

相模原祭り見学

淵野辺公園へお花見



相模原ばら苑へ

フラダンスショー

鶴見川鯉のぼり

温水植物園へ

筍御膳

高幡不動へ紫陽花見学

小学生との交流会

7月	七夕祭りフェア	短冊に願いを込めて笹に飾りました。七夕にちなんだお食事を召し上がっていただきました。また、ボランティアの方によるフラダンスショー＆レッスンを開催し、楽しんでいただきました。
	若竹そうめん流し	中庭を利用し、若竹で流しそうめんを召し上がっていただきました。暑さの中、若竹を流れてくる冷たいそうめんを味わっていただきました。
	孫とふれあう体験学習	福祉の仕事を目指している高校生の皆さんと触れ合いました。孫のような、元気な若い高校生と会話をしたり、レクリエーションを楽しみました。
8月	夏祭りフェア	ホール内の飾り付けを行ない、食事は屋台風に、フロア内で焼きそば・たこ焼き・フランクフルトなどを召し上がっていただきました。
	みんなで踊る浴衣祭り	ご利用者、職員も浴衣に着替え、手作りやぐらを設置し、太鼓のリズムに合わせ盆踊りを行いました。
	スイカ割り大会	夏の風物詩、スイカ割りを楽しみました。
9月	保育園児との交流会	桜台保育園の子供たちと一緒に歌を唄ったり、踊りを楽しみました。
	敬老会	日頃の感謝を込めて敬老会を開催しました。お祝い御膳を召し上がっていただきました。

蓮の花見学

子供たちの演奏会

深川祭人の皆さま

流しそうめん

スイカ割り風景

寿太鼓さんの和太鼓演奏

夏祭り風景

夏祭り風景２

江の島ドライブ

敬老会

保育園児との交流会

バルーンアート

１０月	バーベキュー	中庭で、旬の野菜やお肉などを炭火で焼いて、召し上がっていただきました。
	秋の大運動会	赤組、白組にわかれ、パン食い競争や綱引きなどの競技を行いました。大きなかけ声を出しながら、体を動かし、競い合いました。
１１月	菊花展見学ツアー	薬師池公園で開催される、「菊花展」へ出かけました。色とりどりの菊の花や盆栽を見学しました。
	フラダンスショー	衣装を身にまとい、ボランティアの方々とフラダンスを踊りました。
	さんま祭り	秋といえば「さんま」。炭火で焼いて召し上がりました。
	学園祭へいこう	桜美林大学の学園祭へ遊びに出かけました。
	幼稚園児との ふれあい会	桜美林幼稚園の園児たちが遊びにきました。たくさんの園児と楽しい時間を過ごしました。
１２月	クリスマス会	毎年恒例のクリスマス会を開催しました。着ぐるみの衣装を着たり、ケーキやチキンを召し上がりました。
	音楽祭	ボランティアの方々による、唄や踊りを楽しみました。
	お餅つき	近隣の方々にも参加していただき、中庭でお餅つきを行いました。つきたてのお餅を召し上がりました。

中庭でバーベキュー

秋の大運動会

秋の大運動会

北海道「札幌ラーメン」

さんま祭り

フルート演奏会

菊花展見学

桜美林大学学園祭

桜台保育園児との交流会

クリスマス会の風景

お餅つき

日本舞踊の披露会

１月	ぬくもり神社参拝	手作りの鳥居を作製し、今年１年の健康祈願をしました。
	新年のつどい	ノンアルコールビールやジュースで、新年のご挨拶を交わしました。
	相模原博物館見学	相模原市立博物館へ見学に出かけました。
	町田市立版画美術館見学	町田市立版画美術館へ出かけました。絵画や版画も作品を見学しました。
	七草粥フェア	七草粥を召し上がりました。
２月	節分祭	職員が鬼に仮装し、鬼退治を行いました。お豆を召し上がり、無病息災を祈願しました。
	静岡おでん祭り	静岡名物の「静岡おでん」を、フロアで調理し、召し上がっていただきました。
３月	和太鼓祭り	寿太鼓さんにお越し頂き、和太鼓を披露していただきました。皆さまも笑顔で太鼓を叩いて素敵な時間を過ごしました。
	フラダンスショー	ＲＣフラグループの方々による「フラダンスショー」を開催しました。ご利用者も衣装をまとい、一緒にフラダンスを踊りました。
	ひな祭り	お雛様の飾りを、折り紙を使用し、作製しました。また昼食にはひな祭り御膳を召し上がっていただきました。

手製ぬくもり神社お参り

獅子舞と記念撮影

新年のつどい

相模原博物館見学

町田市立版画美術館見学

静岡名物「静岡おでん」

書道教室

節分祭「鬼退治」

ひな祭り御膳

フラダンスショー

寿太鼓さんによる和太鼓

鹿児島県産「タンカン」

４．防災防火計画

大地震を想定し、年２回、ご利用者と避難訓練を行いました。

５．利用者及び家族からの言葉（一部抜粋）

（１）スタッフの方との散歩は、外出する機会の少ない母には、何より感謝です。

（２）尾根緑道のお花見が、印象深かったようで、夕方のテレビのニュースを見て、「今日行ったところがうつってる」、「畑もあった」と興奮気味でした。写真ありがとうございます。

（３）変わりなく過ごしました。月曜日に下剤を飲んだのですが、まだでません。そちらで出るかもしれませんがご迷惑をおかけします。

（４）写真ありがとうございました。デイでの楽しげな日常がうかがわれ、嬉しく思いました。毎日の御苦労感謝しております。

６．総括

小規模型通所介護の新規利用者数は１２名、認知症対応型通所介護の新規利用者数は７名となりました。傾向としては、相模原市及び多摩市からの紹介が比較的多い状況です。

多くのボランティアの方々に協力を得て、和太鼓や演奏会、踊り等を開催しました。また、近隣の公園等に出かける時間を多くし、季節を感じていただき、散歩をすることで健康促進に努めました。

ご利用者並びにご家族の要望に気づけるよう、連絡帳での情報交換や、送迎時にご家族との会話の時間を設け、積極的にコミュニケーションを図りました。ご要望に応えることで信頼関係の構築に努めました。

町田市内にも多くの通所介護事業所が開設され、市内計１３８箇所もの他事業所が存在します。稼働率向上のために、他のデイサービスとは違う、特化したサービス内容を検討し、安定した運営が出来るよう努めます。また、多摩市、八王子市、相模原市からの問い合わせ状況により、認知症対応型と小規模型の利用定員数変更も必要に応じて検討いたします。

高齢者ショートステイサービスぬくもりの園　事業報告

１．運営方針

（１）ユニットケア（個別支援）

ご自宅での生活と同じようにご利用して頂けるよう、ご利用者の生活様式や生活習慣などを把握すると共に、自律した日常生活を過ごして頂けるように努めました。

（２）信頼関係の構築

ア．介護内容について職員間で話し合い、その内容をご家族やケアマネジャーに連絡させて頂きました。このように提案や報告、相談を行う事でご家族やケアマネジャーとの連携を図り、信頼関係の構築に努めました。

イ．送迎時、ご家族の方に利用中の様子を伝え、コミュニケーションを図るように努めました。

２．重点目標

（１）ご利用者獲得の向上

ア．①利用者人数

４月	５月	６月	７月	８月	９月
８１名	７５名	７０名	７０名	７３名	６４名

１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
６８名	７０名	７３名	６４名	４８名	４９名	８０５名

②月末利用者人数（３１～１日）

４月	５月	６月	７月	８月	９月
１４名	９名	１２名	１４名	９名	１１名

１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
１６名	１４名	１６名	８名	１１名	１０名	１４４名

イベントを第３週の日曜日から第４週の日曜日に変更し、月末月初の利用者の獲得に努めました。

イ．新規利用者数

４月	５月	６月	７月	８月	９月
１５名	１５名	８名	１２名	１６名	６名

１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
８名	５名	５名	２名	４名	１名	９７名

地域別利用状況

地域	町田市	多摩市	稲城市	八王子市	相模原市	その他	合計
人数	９７名	９１名	３５名	４４名	１２名	２名	２８１名

毎月第３週に各居宅介護支援事業所へ訪問し、ケアマネジャーへ空き室状況やパンフレット、イベント内容等をお伝えし、新規ご利用者の獲得に務めました。

ウ．誕生日会につきましては、ご利用者に喜んでいただけるよう、お祝いの看板を作り、写真を撮る時には綺麗な花を持って頂くなど、アイデアを出し合い、楽しんでいただけるよう努めました。

（２）差別化したサービスの提供

居室は全室個室で自律の方、認知症の方とフロアを分け、その人らしい生活に寄り添い、ご利用者が生活しやすい環境作りに努めました。また、普段ご自宅で外出する機会が少ないご利用者にも外出の機会を設け、気分転換を図っていただきました。
年間を通して気候が良い時には、中庭にパラソルやテーブルを用意して、オープンカフェの雰囲気を楽しんでいただきました。

（３）職員の育成に努める。

	勉強会内容
４月	インスリン関係について
５月	未実施
６月	感染症について

７月	１６疾病ついて
８月	プライバシーについて
９月	発言の大切さについて
１０月	施設内のプライバシーについて
１１月	介護職員ができる医療行為について
１２月	身体の清潔について
１月	リスクマネジメント１について
２月	リスクマネジメント２について
３月	ひやりはっとの書き方について

毎月行う職員会議の中に、各職員が月替わりで講師となり、勉強会を行いました。職員一人ひとりが危機回避の力を身につけ、事故を未然に防止できる様に取り組みました。

３．利用者定員

①年齢

	男性	女性	合計
６５歳以下	７名	２名	９名
６５～６９歳	３名	―	３名
７０～７４歳	１２名	１３名	２５名
７５～７９歳	１９名	１１名	３０名
８０～８４歳	２６名	４０名	６６名
８５歳以上	２０名	１２８名	１４８名
計	８７名	１９４名	２８１名

年間平均目標 97%に対して稼働率は 89.3%でした。

②日平均人数

４月	５月	６月	７月	８月	９月
１７．７名	１７．８名	１７．５名	１９．８名	２０．２名	１８．３名

１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
１９．２名	２０．５名	１９．０名	１７．３名	１２．９名	１３．８名

４．サービス内容

（１）食事サービス

食事については、近隣の畑から採れる新鮮な野菜を使用し提供しました。ご利用者の状態に合わせ自律して食事を召し上がれるように支援しました。また、おやつの時間や昼食時に季節にあった果物を提供し召し上がっていただきました。

（2）介護サービス

ご自宅での生活の延長となるよう努めることで、少しでも長く在宅生活が継続できるよう努めました。また、ご自身で出来る事は行って頂けるよう言葉かけを行い、メリハリのある生活がおくれるよう努めました。

（3）機能訓練

可能な限り体を動かす時間を設け、体操やケアビクス等を、ご利用者に行っていただきました。また、口腔体操も昼食と夕食の前に行いました。

（4）入浴サービス

入浴されるご利用者のバイタル（血圧・脈拍）測定、体温測定を行い、入浴して頂きました。入浴をする事ができないご利用者には清拭にて対応させていただきました。また、６・１６・２６日には温泉浴を行い、気分転換を図り健康促進に努めました。

（5）環境と設備

退所された方の居室を清掃・消毒を行い、衛生管理に努めました。普段の掃除やリネン交換時などには、危険個所が無いか確認し、事故防止に努めました。

（6）体調管理

毎朝及び入所時並びに入浴時に看護師や職員がバイタル（血圧・脈拍）測定、体温測定をし、体調管理を行いました。職員間でその情報を共有し、体調変化の早期発見に努めました。緊急時には応急処置を行い、医療機関、ご家族に連絡し対応しました。

（7）年間行事

月	行　事	内容・感想
４月	山王林公園 さくらめぐり	山王林公園にて、あたたかいお茶を飲みながらお花見をしました。帰り道、尾根緑道を通り、桜並木を見ながら園に戻りました。
	お菓子作り	桜にちなんだお菓子を職員と一緒に作り、美味しそうに召し上がられていました。
５月	節句祭	端午の節句にちなんだ料理を召し上がって頂き、ボーリング大会を開催し、皆様に参加して頂きました。

６月	麻溝公園 紫陽花めぐり	雨天の為中止。室内にて下記の内容を行いました。
	フォトフレーム作り	貝殻をフレームの周りに飾り付け、オリジナル写真立てを作りました。
７月	七夕 流しそうめん祭り	短冊に願いごとを書いて頂き、七夕の飾り付けを行いました。また、中庭にて流しそうめん体験を楽しんでいただきました。
８月	屋台バイキング 納涼祭り	ヨーヨー釣りや、射的、ボールすくい等を楽しんでいただき、お祭りの雰囲気を味わっていただきました。
９月	敬老会	お食事に握り寿司や松花堂弁当を召しあがって頂きました。また、メッセージカードをプレゼントし、ボランティアの方による盆踊りを観賞して頂き、一緒に踊られるご利用者もいました。

４月お菓子作り

５月ボーリング大会

６月フォトフレーム作り

７月流しそうめん

８月納涼祭

９月敬老会

月	行　事	内容・感想
１０月	秋の大運動会	輪投げ、玉入れ、ボール渡しの競技を行っていただき、皆様笑顔で点数を競いました。
１１月	リース作り	クリスマスに飾れるよう、クリスマスリースを作りました。細かい作業もありましたが、喜ばれていました。
１２月	クリスマス会	スタッフによるダンスを鑑賞していただき、サンタからのプレゼントと写真撮影を行いました。
１月	新春初詣めぐり	近くの神社へ新年の挨拶と願いをしに初詣に行きました。
	キーホルダー作り	粘土でキーホルダーを作りました。隣の方と話しながら、たくさん作られる方もいました。
２月	節分まつり	スタッフ扮する鬼を退治していただきました。
	バレンタインチョコ作り	型にチョコを流し入れていただき、トッピングをしてチョコ作りをしました。
３月	生け花	生花を土台に差し、オリジナルのフラワーアレンジメント作りました。綺麗な花を見て喜ばれていました。

１０月　運動会

１１月　クリスマスリース作り

１２月　クリスマス会

１月　初詣

１月　キーホルダー作り

２月　節分

２月　チョコ作り

３月　生け花

５．防災防火計画

人員不足により避難訓練や消防機器の取り扱い訓練に参加できませんでした。来年度は参加し災害時に備えていきます。

６．総括

月末月初の利用者獲得の為、行事を第３週の日曜日から、第４週の日曜日に変更しましたが、定期的にご利用頂いていた方の入院や、介護保険施設等への入所による利用の中止が続き、稼働率の増加にまでは至りませんでした。

誕生会は、おやつの時間を利用して誕生月のご利用者（利用期間中）に皆様でハッピーバースデーを歌い、職員手作りのバースデーカードをプレゼントしてお祝いさせていただきました。調理職員にも協力してもらい、おやつにひと工夫加えてお祝いしました。写真を撮る際には、花束を持っていただくと笑顔が多く見られました。来年度も引き続き行ってまいります。

職員の育成では、職員が講師となり、業務上必要とされる題材を考え、会議の場で発表し、業務に反映していくように努めました。

年間稼働率目標 97%を目指しましたが、年間稼働率は 89.2%で終え、目標稼働率に達する事ができませんでした。来年度は、選ばれる施設になるよう、職員一人ひとりがショートステイの特性の認識を深め、より多くの紹介がいただけるよう努めてまいります。また、空き室状況をケアマネジャーにお知らせし、新規利用者及びリピーターの確保に努め、年

間稼働率目標の達成を目指していきます。

来年度は、上半期で行う事が少なかった花植えを行い、五感を刺激し気分転換を図っていただけるよう努めると共に、暖かい日には、中庭にパラソルやテーブルを用いてオープンカフェの雰囲気を楽しんで頂きます。また、その他のレクリエーションにおいても、職員間でいろいろなアイデアを出し合い、ご利用者の方々に楽しく過ごしていただけるように努めてまいります。

居宅介護支援事業所　事業報告

１．運営方針

（１）自立支援

ご利用者の“できるけれど、していない”ことを把握するために、生活上の課題の分析に努めました。ご利用者の意思を尊重し、ともに目標を設定して、活動量の向上や社会活動への参加等、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援しました。

（２）社会資源の活用

ご利用者の“できないけれど、してみたい”ことを実現するために、介護保険サービスだけではなく、近隣住民による唱歌指導やボランティアによるお墓参りの同行等、地域の社会資源の活用に努めて、居宅サービス計画の作成を支援しました。

２．重点目標

（１）医療機関への訪問による連携の充実

医療機関との連携体制の充実を図るため、奇数月を中心に医療機関を訪問して、医師や医療相談員と面談をしました。訪問を重ねるなかで、中核医療機関では退院後に介護サービスの利用が見込まれる患者に対して、住所地の高齢者支援センターをまず紹介するという支援連携システムがすでに構築されていることを早期に確認したため、以降は高齢者支援センターや訪問診療所、訪問歯科、訪問薬剤指導を実施している薬局等への訪問活動も強化して、連携体制の充実と高齢者への事業者情報の提供促進に努めました。

また、ご利用者が入退院する際には、医療機関への情報提供とカンファレンスへの積極的な参加に努めて、医療相談員との信頼関係づくりに取り組んでまいりました。

その結果、医療相談員から入院患者の退院に伴う居宅介護支援の出張説明の依頼をお受けして、自宅環境の整備や介護サービスの調整等を入院中から支援し、退院後の居宅介護支援を継続した事例もあり、連携体制の充実に向けた取り組みの成果を実感いたしました。さらに、医療機関から退院患者の相談を受け付ける高齢者支援センターとの信頼関係の向上により、年間を通じて、退院後の居宅介護支援の依頼を継続的にお受けすることができました。

（２）ご利用者満足度の向上

ご利用者の要望に応じて、成年後見制度の紹介や無料エンディングノートの提供等、人生の終末期に備えた活動の支援をいたしました。また、誕生日にはお祝いのメッセージをお贈りしたほか、敬老月間には“介護支援専門員が在宅生活のサポーター（支援者）として身近にいることを実感していただきたい”という思いを込めて『遠赤外線サポーター』を贈呈し、多くのご利用者から好評を得ることができました。

さらに、ご利用者を対象として上半期に実施した満足度アンケート調査では、職員の態度や言葉遣い、説明のわかりやすさ、他者への推奨度等の全１５項目について、総合平均４．６９点（満５点）という高評価をいただきました。以降、各項目の改善策を話し合い、おもてなしの質の向上に取り組んでまいりましたが、下半期に予定していた満足度アンケート調査は評価の公正性を確保するため、平成２６年度に延期いたしました。

３．利用者定員

（１）要支援認定者

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
要支援１	３名	３名	３名	３名	３名	３名
要支援２	４名	４名	４名	３名	４名	４名
計	７名	７名	７名	６名	７名	７名

月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
要支援１	３名	３名	３名	５名	６名	６名
要支援２	４名	４名	４名	５名	５名	５名
計	７名	７名	７名	１０名	１１名	１１名

ご利用者とともに設定した目標に向けて自立支援に努めた結果、要介護から要支援へと状態が改善した事例が複数あり、要支援認定者が増加いたしました。

（２）要介護認定者

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
要介護１	１４名	１３名	１４名	１３名	１５名	１５名

要介護２	２５名	２５名	２５名	２８名	２７名	２６名
要介護３	１６名	１７名	１５名	１４名	１２名	１１名
要介護４	５名	６名	１０名	１０名	１０名	１０名
要介護５	６名	５名	５名	６名	６名	６名
計	６６名	６６名	６９名	７１名	７０名	６８名

月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
要介護１	１６名	１７名	１６名	１６名	１４名	１５名
要介護２	２３名	２２名	２２名	２３名	２１名	２１名
要介護３	１５名	１４名	１５名	１４名	１４名	１３名
要介護４	８名	９名	９名	８名	７名	７名
要介護５	６名	７名	８名	７名	７名	７名
計	６８名	６９名	７０名	６８名	６３名	６３名

要介護度の平均は２．５３となり、前年度から０．１３ポイント下降しました。また、介護支援専門員の常勤換算人数に対する支援稼働率は８９．８％となり、目標としていた支援稼働率９０％にはわずかに達することができませんでした。

４．サービス内容

（１）サービス提供地域

居住地域	町田市					
	小山田桜台	下小山田町	上小山田町	図師町	忠生	常盤町
利用者数	１９名	１１名	４名	１１名	１１名	８名

居住地域	町田市					他市
	木曽東・西	山崎町	小山町	矢部町	その他	

利用者数	１３名	１１名	３名	３名	１２名	３名

平成２５年度の支援実績１０９名のうち、小山田桜台在住のご利用者は１９名（ご利用者総数の１７％）となりました。

（２）要介護認定調査

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
町田市依頼	３名	３名	３名	７名	６名	９名
他区市依頼	―	１名	２名	―	―	１名
計	３名	４名	５名	７名	６名	１０名

月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
町田市依頼	２名	２名	１名	３名	３名	３名
他区市依頼	―	―	１名	１名	―	―
計	２名	２名	２名	４名	３名	３名

要介護高齢者の認定更新に係る要介護認定調査について、町田市のほか、東京都練馬区と千葉県千葉市中央区・美浜区・緑区、福島県相馬市から調査依頼を受託いたしました。

５．外部研修

月日	表題等	主催者	参加
４月　８日	事例検討会	忠生第１高齢者支援センター	２名
４月１７日	多摩市介護支援専門員連絡会	多摩市健康福祉部	２名
５月１０日	町田市ケアマネジャー連絡会	町田市ケアマネジャー連絡会	１名
５月１３日	事業所ネットワーク会議	忠生第１高齢者支援センター	２名
５月２２日	合同エリア会議	忠生第１・２高齢者支援センター	１名
５月２３日	忠生第２高齢者支援連絡会	忠生第２高齢者支援センター	１名
７月　８日	事例検討会	忠生第１高齢者支援センター	２名
７月１０日	地域ケア会議	堺第２高齢者支援センター	１名
７月１２日	町田市ケアマネジャー連絡会	町田市ケアマネジャー連絡会	１名
７月１９日	町田市認定調査員新規研修	町田市介護保険課	１名

７月２９日	町田市認定調査員新規研修	町田市介護保険課	１名
８月１２日	事業所ネットワーク会議	忠生第１高齢者支援センター	１名
９月　９日	事例検討会	忠生第１高齢者支援センター	２名
９月１３日	町田市ケアマネジャー連絡会	町田市ケアマネジャー連絡会	１名
９月２６日	忠生第２高齢者支援連絡会	忠生第２高齢者支援センター	１名
１０月１６日	法令遵守研修	町田市介護人材開発センター	２名
１１月２８日	忠生第２高齢者支援連絡会	忠生第２高齢者支援センター	１名
１月１０日	町田市ケアマネジャー連絡会	町田市ケアマネジャー連絡会	１名
１月２３日	忠生第２高齢者支援連絡会	忠生第２高齢者支援センター	１名
２月２７日	忠生第２高齢者支援連絡会	忠生第２高齢者支援センター	１名
３月　３日	町田市認定調査員現任研修	町田市いきいき健康部介護保険課	１名
３月１０日	事業所ネットワーク会議	忠生第１高齢者支援センター	１名
３月１８日	第３回地域セミナー	多摩丘陵病院	１名

忠生第１・第２高齢者支援センターとの連携体制の充実を図るため、各主催連絡会へ積極的に参加しました。

また、町田市ケアマネジャー連絡会等へ参加した職員による事業所内での報告会を適時実施して、知識の向上と情報の共有に努めました。

６．防災・防火計画

（１）安全対策

ご利用者宅を訪問時に、火気管理や家具の転倒防止等、安全対策の実施の呼び掛けを行いました。

（２）必需品の備蓄

ご利用者宅を訪問時に、保存食料品や医薬品等、必需品の備蓄の呼び掛けを行いました。

（３）防災訓練の実施

町田市内のすべての介護保険サービス提供事業者を対象として５月に実施された『災害時情報伝達訓練』では、電話・ＦＡＸ・電子メール等の通信インフラ網が麻痺という状況設定のもと、忠生第１高齢者支援センターを徒歩で訪問し、ご利用者の想定安否状況と事業所の想定被害状況を報告して、大規模災害時の情報伝達手順を確認しました。

また、３月に実施した自主防災訓練では、事業所内で小規模火災が発生した場面を想定して、初期消火と情報伝達手順、避難の経路を確認しました。

７．訪問活動

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
訪問･面会	７件	１６件	１８件	１１件	８件	１３件

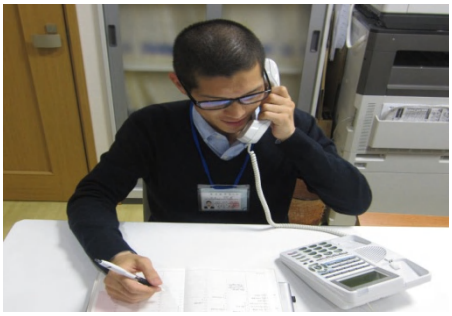
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
訪問･面会	１４件	１０件	１５件	２０件	１１件	２７件

重点目標であった医療機関との連携体制の充実を図るなかで、中核医療機関と高齢者支援センターとの間では支援連携システムが確立されていることを早期に確認したため、以降は訪問診療所や訪問歯科、訪問指導薬局、訪問理容、訪問マッサージ等、通院や外出が困難な高齢者に関わる機会がより多いと考えられる関係機関への訪問活動も強化しました。

８．新規支援依頼

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
新規依頼	１名	４名	３名	３名	５名	１名
支援再開	―	１名	１名	３名	―	―
計	１名	５名	４名	６名	５名	１名

月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
新規依頼	２名	４名	３名	５名	１名	２名
支援再開	３名	―	１名	―	１名	―
計	５名	４名	４名	５名	２名	２名



退院・退所に伴う支援再開を除いた新規ご利用者３４名のうち、高齢者支援センターの紹介による支援依頼は１８名、他事業所の閉鎖に伴う支援の移管は４名、ご利用者から直接の支援依頼は１２名（うち、介護ステーション来訪者による支援依頼は６名）ありました。

９．利用者及び家族からの声

（１）「いつも優しく接していただき、大変満足してます。これからもよろしくお願いいたします」（ご利用者家族）

（２）「ケアマネジャーには日頃から大変お世話になっております。やさしく、暖かいお言葉に感謝しております。大変なお仕事だと思いますが、いつも変わらず笑顔で接してくださりますことに、家族も力をいただいております。今後ともよろしくお願い申し上げます」（ご利用者家族）

（３）「いつも親切にしていただいて、ありがとうございます」（ご利用者）

（４）「大変よくしていただいて、ありがたく、とても助かっています。今後ともよろしくお願いいたします」（ご利用者家族）

（５）「母の病気との戦いは、私が悲しんだり、立ち止まったりすることを許さないものでした。そのなかで『ぬくもりの園』を紹介され、ときにはどうすることもできない感情をぶつけたこともありましたが、常に正面から受け止めていただきました。がんばることのできた大きな要因です。ありがとうございました」（ご利用者家族）

１０．総括

小山田桜台商店街へ事業所を移転して、１年８か月が経過しました。地域の皆様が気軽に立ち寄れる相談窓口を目指して、介護保険サービスだけでなく、地域の社会資源の情報資料も充実させて、来所相談をきっかけにした新規支援の依頼件数は前年度よりも増加しました。また、医療機関との連携体制の充実を図るとともに、高齢者支援センターとの信頼関係の向上に努めて、新規ご利用者の紹介件数も増加しました。

年間の支援稼働率は８９．８％となり、目標としていた支援稼働率９０％にはわずかに達することができませんでしたが、医療機関を中心とする他事業者との連携体制の充実や事業所内での勉強会の開催、ご利用者の自立支援に重点を置いた居宅介護支援の推進等により、要介護から要支援に状態が改善した事例が複数あったことは、大変喜ばしいことで

した。そして、ご利用者満足度アンケート調査では、たくさんの感謝の言葉を寄せていただき、居宅介護支援の責任を改めて認識いたしました。

平成２４年の介護保険制度改正において大きな目標とされた地域包括ケアシステムの構築は、介護保険制度の持続可能性を確保するために、次期制度改正において地域支援事業の見直しと、介護サービスの重点化・効率化が検討されています。ご利用者が要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、自立支援に重点を置いた居宅介護支援を心掛けて、今後もご利用者の生活の質のより一層の向上に、嘉祥会の基本理念である「真直な心」「誠実な心」「奉仕の心」をもって取り組んでまいります。

ヘルパーステーション　事業報告

１．運営方針

（１）要介護者及び要支援者の心身の状況に応じた、サービスを提供しました。

個々のご利用者の必要性に応じ、その人の意欲や残っている能力を活用しながら訪問介護活動を行ないました。また、訪問介護員と一緒に行う事で「生活の質」を高める働き掛けを行いました。排泄や入浴に関しては、同性による支援を心がけました。その結果、精神状態が安定し、前向きな気持ちを持ちながら、訪問介護員と一緒に積極的な活動をされるご利用者が多くなりました。

（２）利用者の目標の達成度や満足度

ご利用者に対し、モニタリングを実施しました。その結果、数名の方の新たな意向を確認する事ができました。事業所内で解決する事が可能な内容については、修正を行い、各訪問介護員に伝達し、ケアチームとして意識を高める事が出来ました。殆どの方は、満足され、サービスを継続していただいております。

（３）サービス提供について

早朝は８時００分から始まり、夜間は１９時３０分に終える時間の訪問活動を行い、利用者の必要性に対応したサービスを提供しました。

（４）職員研修・会議

会議・研修日	内　容	参加人数
４月２２日	① 利用者の情報交換及び検討結果 ② モニタリング結果及び報告	１１名
５月２０日	① 利用者の情報交換及び検討結果 ② バイスティックの７原則について ③ 介護保険軽度者サービスについて	１１名
６月１９日	① 利用者の情報交換及び検討結果 ② 糖尿病について	１０名
７月２２日	① 利用者の情報交換及び検討結果	１１名
８月２０日	① 利用者の情報交換及び検討結果 ② 水虫の症状の資料を配布 ③ 感染症の資料を配布	１０名

９月１８日	①利用者の情報交換及び検討結果 ②緊急対応説明	８名
１０月２１日	①調理実習	８名
１１月２０日	①利用者の情報交換及び検討結果 ②冬に流行する感染症について	１２名
１２月１９日	①利用者の情報交換及び検討結果 ②状態の観察と緊急時の対応について	１１名
１月２０日	①利用者の情報交換及び検討結果 ②気道確保の手順 ③感染症予防及び手洗いの仕方	１０名
２月２０日	①利用者の情報交換及び検討結果 ②冬に流行する感染症について	１０名
３月２０日	①利用者の情報交換及び検討結果 ②ヘルパーと共につける振り返りシートについて	７名

２．重点目標

（１）誕生日企画

毎月、ご利用者の誕生日に、切り花ミニブーケを届けました。日常生活の中で、「花を買う機会や気持ちに余裕が無いので、とても嬉しい」との言葉を頂き、大変喜ばれました。また、切り花を好まないご利用者には、生活用品を届けました。

（２）居宅介護支援事業所への宣伝普及活動

月に一度、居宅介護支援事業所に活動実績を届けると共に、ＰＲ活動を行い、新規利用者確保に努めました。その結果、新規利用者の依頼を頂くことが出来ました。
また、新たな居宅介護支援事業所にも訪問し、宣伝普及活動に努めました。

（３）車両管理

月初めの燃料給油時に、タイヤの空気圧を確認しました。各車両に常備している走行距離記入ファイルに記入しています。オイル交換も六ヶ月に一度行っています。タイヤのローテーションは、４月に行い、車両の維持・管理に努めました。

３．利用対象者

年　齢

項目	～65 歳	66～70 歳	71～75 歳	76～80 歳	81～85 歳	86～90 歳	91 歳～	合計
男性	２名	２名	３名	６名	４名	４名	４名	２５名
女性	３名	―	―	８名	７名	５名	３名	２６名
合計	５名	２名	３名	１４名	１１名	９名	７名	５１名

介護度

項　目	支援１	支援２	介護１	介護２	介護３	介護４	介護５
男　性	６名	３名	４名	７名	４名	１名	―
女　性	５名	５名	３名	７名	３名	２名	１名
合　計	１１名	８名	７名	１４名	７名	３名	１名

年齢は、７６歳以上の方の利用が多い状況です。介護度は、年齢に関係なく、個々の利用者の心身の状態により異なります。

４．利用者定員

月	利用人数	訪問回数（内自費回数）	訪問時間数（内自費時間）
４	４７名	４２３（６）回	４５４．７５（１８）時間
５	４６名	３９６（４）回	４０８．７５（７）時間
６	４９名	３５９（８）回	４０６．５（１９）時間
７	５１名	４３３（４）回	４７４．７５（６）時間
８	５０名	４３９（５）回	４８５．５（７）時間
９	４９名	３９７（７）回	４４０．５（９）時間
１０	４９名	４８６（５）回	５１０．４５（１５．５）時間
１１	５０名	４２６（６）回	４７７（１６）時間
１２	５０名	４０６（９）回	４５４（１０．５）時間
１	５１名	４０６（４）回	４３７．５（７．５）時間
２	４８名	３５９（２）回	３６３（４）時間
３	５１名	３７５（２）回	４０６．５（４．５）時間

新規利用者の依頼がある中、施設入所や入院または死去等、著しい変動がありました。

５．職員配置

（平成２６年３月３１日現在）

常勤職員		非定形的パートタイムヘルパー	
４．５		１１	
男性	女性	男性	女性
１．５	３．０	―	１１

常勤職員の一人が長期病欠となりました。職員人員配置不足を補う為、以前より非定形的パートタイムヘルパーとして勤務している訪問介護員を、８月から３月まで、週３日勤務の非常勤訪問介護員として配置しました。また、管理者兼サービス提供責任者の退職にともない、１２月よりサービス提供責任者、１月より管理者を変更しました。

６．防災防火計画

ご利用者との会話の中で、家具の留め金具、専用ヒモ等の話しをし、その後、ご利用者が自身の安全対策として、家具等を固定されました。

また、５月２９日、大地震を想定した災害時の利用者状況確認の模擬訓練が行われ、忠生第１高齢者支援センターまで、必要書類持参し、徒歩にて行動しました。

７．利用者及びご家族からの言葉

（１）いつも良くやっていただき、助かります。（ご利用者）
（２）分からないことばかりだが、色々教えてくださるので助かります。（ご家族）
（３）お陰様で選挙に行けました。ありがとう。（ご利用者）

活動風景（掃除）

活動風景（調理）

８．総括

今期は、新規利用者２８名のご紹介を頂き、前期とほぼ同数のご利用者をご紹介頂きました。しかしながら、ご利用者の死去、入院や施設入所等の理由により、年間利用人数は伸び悩み、目標サービス提供時間に達することが出来ませんでした。

一年間を通して４件の緊急対応を行いました。その内３件のご利用者が独居生活をされ、訪問時にお亡くなりになられていました。その様な状況が続いた為、会議で緊急時の対応についての研修を実施するとともに、訪問時の訪問介護員の心構えを、訪問介護員に再度伝えました。また、初心の気持ちを忘れずに支援をする事で、ご利用者が安心して日常生活を送る事が出来ると再認識しました。

今後も、営業活動を行うとともに、定期的に職員研修を実施し職員の質の向上を図り、新規利用者獲得に努めます。また、各サービス事業所と連携を図り、ご利用者が住み慣れた地域で安心して在宅生活が送れるよう取り組んでまいります。